

科目名：生命システム医学概論

英訳名：Lectures in Biomedical Research

授業形態：生命システム医学専攻で行われている研究の内容について、研究指導教員による授業を受け、研究内容に関する討論を英語で行う。また、自らの研究との関連について考えレポートにまとめる。

標準履修年次、学期、単位数

1・2年次、秋学期、1単位

開講場所

4A203講義室

授業担当教員と連絡先・オフィスアワー

研究指導教員

目的・一般目標 (GIO)

生命システム医学専攻で行われている研究活動の全体像を理解し、医科学の幅広い分野について知識の幅を広げるとともに、研究の展開力を養う。

行動目標 (SBO)

1. 生命システム医学専攻で行われている研究の概略を説明できる。
2. 授業中あるいは授業後に質問して理解を深める。
3. 自分自身の研究で扱ったことのない実験方法、データ解析法について、研究室を訪問してどのようなものか現場で学ぶ。
4. 自分の研究室では行われていない研究方法を他の研究室で学び、または、共同研究として自らの研究に取り入れ、研究の幅を広げる計画を立案する。

授業項目（各週、毎授業計画）

各研究指導教員が当該研究室で行っている研究の内容についておよそ45分程度で紹介する。この際、研究の成果だけでなく方法上の特徴についても説明する。その後、30分程度の質疑応答を行う。学生は、講義内容と自分自身の学位論文研究を関連づけてレポートにまとめ提出する。授業を担当した教員は、積極的に質疑応答を行っている優秀な学生の名前を専攻長に報告する。

授業外における学習方法

授業を行った教員の研究室を訪問し、自分自身の実験研究の新たな展開を企画し、自らの創造力、自立力を向上させる。同期生や教員と積極的に話し合い、生命システム医学専攻における研究活動についての理解を深める。

評価方法と評価基準

積極的な質疑応答への参加（50%）およびレポートの内容に基づく行動目標の達成度（50%）により、研究指導教員と教務委員あるいは専攻長が評価する。

行動目標の1と2について大旨できていると判断できれば合格（C以上）と判断する。

行動目標の1、2に加え、3を行なっていることがレポートで読み取れればB以上と判定する。

行動目標の1、2に加え、3、4を行っていることがレポートから読み取れればAと判定し、特に優れたレポートと判断された場合、A+と判定する（上位10%）。

教科書・参考書

なし

備考

授業は英語で行う。